

# 日立もダメだった原発の海外輸出

## 行き詰った原発をやめ、 自然エネルギー中心に!

### 建設費の高騰で実績ゼロ 日立も巨額の損失計上

1月17日、日立製作所は、イギリスで進めてきた2基の原子力発電所の新設計画を凍結する、と発表しました。今年3月期の決算で3000億円の損失を計上する予定です。安全対策のために、事業費が予定より1兆円も多い3兆円を超える見通しになったのに、出資する企業が集まらず、アメリカの原発建設で巨額な

赤字を出し、経営が傾いた東芝の二の舞になることを恐れたのでしょう。

三菱重工も、トルコで予定していた原発建設を断念する方針です。これで、アメリカ、台湾、ベトナム、リトアニア、トルコ、イギリスと、安倍政権が「成長戦略」として推し進めてきた原発の海外輸出は、すべて頓挫したことになります。

### 国内の9原発・13基が廃炉に 東海再処理工場の廃止に70年、約1兆円

国内では、大手の電力会社が、安全対策費が巨額になるため、比較的小さい、古い原発の廃炉を決めています。しかし、廃炉作業を終えた原子力発電所は、まだ1基もありません。炉心など高濃度に汚染された廃棄物の処分方法すら決まっていないからです。なので、使用済み核燃

料の処分と合わせて、原発1基を廃炉するのに、いったいいくらかかるのかわからない、というのが現状です。

発電所だけでなく、核燃料の再処理を行っていた東海村の施設の廃止には、70年の歳月と約1兆円がかかると公表されています。「日本原子力研究開発機構」

**全造船関東地協労働組合**

【2019年2月11日】

一人でも誰でも入れる労働組合 **よこはまシティユニオン**

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX 045-575-1948 ホームページ <http://yuniyoko.sakura.ne.jp>

という組織の施設なので、1兆円の廃止費用は、すべて国の費用でまかなわれます。全く役に立たなかった高速増殖炉「もんじゅ」も同じなので、3,750億円と見

込まれている廃炉費用は、すべて国費、すなわち国民の負担です。しかも、さらに費用が膨れ上がるであろうことは、想像にかたくありません。

## すでに背負わされている巨額な負担 原発継続はもう耐えられない

国の原発輸出政策を担った大企業は、巨額の損失を被りながらも生き延びています。しかし、これから原発の廃炉や各施設の廃止、核燃料の処分など想像を絶する巨額な費用は税金や電気料金の形で国民に課せられます。私たちの世代だけではまかないきれないでしょう。だからこそ今すぐに原発をやめ、これ以上後始末の費用を増やしてはいけません。

国は、プルトニウムを減らす、と言

ながら、プルトニウムを取りだすための青森県の再処理工場の稼働をあきらめていません。来年度予算案では「新型小型原発」や「高温ガス炉」の開発費用まで計上しています。行き詰まっているのに、絶対に行き詰まりを認めない、支離滅裂な国の原子力政策を1日も早くやめさせ、再生可能な自然エネルギー中心の社会にしていくために声をあげていきましょう。

【組合員H】

### ■故長尾さんの闘いを胸に

よこはまシテイユニオンの組合員だった長尾光明さん（故人）は、福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し、労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起しましたが、東電は、労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁2010年4月）。

### ■原発で働く労働者と共に

原発は、電力会社を元請とした4〜8次の下請会社で稼働しています。3・11以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40代男性）は、2016年11月22日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴しました。11回にわたる口頭弁論を経て、次回3月13日は東京地裁で進行協議が行われます。多くの皆さまの支援をお願いします。

### ■東京電力と国の責任を 追及します！

よこはまシテイユニオンは、11年4月以降、東京電力に対し、団体交渉や情報公開・賠償・脱原発などを求め49回にわたり要求書を提出。東京電力からはその都度、文書で回答はありますが、肝心な点はいつも曖昧です（ホームページ参照）。ユニオンは、東電と国の責任を追及し、今後も粘り強く話し合いの場を求めます。

### ■職場の問題

いつでもご相談を！

私たちは、3・11大震災や原発事故を忘れないため毎月11日に街頭宣伝活動を続けています。もうすぐ丸8年です。これからも、何ができるのかを一緒に考えたいと思います。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！